

令和5年2月19日

足立区立西伊興小学校

校長 金田 耕一 様

足立区立西伊興小学校 開かれた学校づくり協議会

令和5年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

（1）学力向上アクションプラン

- 3年連続で目標値通過率9割を達成し、児童の基礎的な学力が定着してきている点を評価。平均正答率も足立区平均を大きく上回る成績を実現してきた点も高く評価。
- 校内研究を体育科に決定したことにより、先生方並びに地域との共有も図られた点は今後の取り組みにもつながっていくものと期待している。
- ICT機器の有効的活用は、他校にも先駆けて取り組んできており、1年生もタブレットを活用でき、AIドリルは日常的に活用できている。対象が限定的で負担も大きい放課後補充やサマースクールの代替手法として、全体の学力定着や底上げに活用して欲しい。
- ESD-SDGsへの取り組みは、年間を通してすべての児童が主体的に取り組んでいる姿や学習活動の成果を授業参観等を通じて確認することができた。また、今年は地域の町会と協働して、普段訪れている公園や道路等の清掃活動にも積極的に取り組むことができ、終わりのない課題への取り組みをぜひ継続していきたい。
- 読書に関しては、図書支援員や図書ボランティアの方々のサポートにより、児童一人当たりの貸出冊数が着実に増加してきており、学力向上の基盤である読解力の向上に寄与しているものと理解。さらに読み進むだけでなく、内容を理解し、それに対する気持ちや意見をまとめアウトプットする習慣が身に付けば更なる能力向上に資するものと考え。
- 現代のSNSなどの発展で減少した本を読む機会はとても貴重なものとなっている。今後も定期的な読書週間を継続してほしい。
- 「対面に勝る学び合いはない」とのことだが、リモート授業への先生方の苦労や意気込みが感じます。今後も緊急事態に強い学校であってほしい。
- 「個別最適な学び」を目指しつつ、教職員の方々の働き方改革を推進されていく中で、ICT機器の活用が果たす役割が大きくなってきていることを感じる。各児童の学びの習熟度に応じた知識・情報を得るツールが充実していくことはとても芳しいことである。

（2）協働的な学び合い

- 道徳公開授業等を通じて、相手の話をきちんと聞き、考え、発言することが実践できていることは実感できた。アンケート結果も踏まえて、さらに行動に移せるような機会を創っていく工夫をしていただければと考える。その際には保護者や地域も活用していただければと思う。

- いじめは日常如何なところでも発生するものであることから、先生間の情報共有を密にし、担任や学年だけでなく学校全体として取り組んでおり、早期発見・早期対応を実現している点は大いに評価。今後発生する可能性が高い SNS に関する問題も保護者並びに地域とも連携して対応して欲しい。
 - 学校での対面による授業などで話し合いや発表を通じた「協働的な学び合い」の探求を深めていただけるのは、これからの時代に必要とされる「思考力・表現力・判断力」の素養を磨く良い機会であると期待している。
 - いじめの早期発見・早期解決については、目配り・気配りの連続であると思うが、活動が実り、児童も生き生きと学んでいる感じがする。
 - ＩＣＴ機器の充実や校長室・主事室での子供対応など、先生方の教育環境向上への努力がよく分かる。これからも継続してほしい。
 - 不登校 0 について、学校の努力が感じられる。その子に合った学び方を、学校全体で一緒に考え、何かあっても相談しやすい雰囲気を感じる。
 - いじめ早期解決 100% を達成するのは実際には非常に困難である。不可能であることを認めることが大切であり、解決より認知の方が肝心であると考える。
 - 先生方の創意・工夫によりコロナ前と全く同様な形ではないが、学校行事や PTA 行事を再現できた。運動会・音楽会・PTA フェスタ等を経験できた児童の生き生きとした顔を見ることができ、とても嬉しかった。保護者も児童も地域も「学校」での学び合いの大切さと楽しさを実感できた。
 - 運動会における特別支援学級の全学年での表現は、見ている大人も子供も感動し、通常学級との垣根をなくす一助になったと考える。
- (3) 体力向上と病気の予防
- コロナやインフルエンザの影響で十分な取り組みができなかった点は致し方ないが、校内研究を通じた具体的な方策を積極的に取り入れ、まずは区平均達成が可能な種目から重点的に取り組み、成功体験を得たうえで更なる体力向上を図ってもらいたい。協議会としても学び塾等を通じて協力させていただきたい。
 - オリパラ教育の「国際理解」を深めるための教育として、香港やベトナムとオンラインで交流し、ネイティブな方と直接交流した点は大変評価。人口減、委縮する日本に留まることなく、国際社会を理解し対等に行動できる子供たちが早く成長してくれることを願っている。
 - 体育で体を動かすことが増えたり、セレクト給食が復活したりと、子供たちが楽しく学校に通うことができている。
 - 今後も地域の皆様の様々な協力をいただきながら、運動会などの安全な運営をしていきたいと思う。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

- 今年度は、公開授業、運動会や音楽会等フリーに参観することができ、児童や保護者との交流も増え、大変嬉しく思っている。来年度から実施する全学年クラス替えについては、先生並びに児童の負担や弊害も生じるかもしれないが、それ以上に不連続で不確かな時代に生きていく子供たちが、多様性があり、いかなる困難にも立ち向かっていける機会になればと期待している。
- 参観する機会を増やしていただいたことに感謝する。負担が増えて大変かもしれないが、PTAもできる限り協力していきたい。
- 保護者も児童とともに成長していきたい。学校から課題や期待を具体的に提示されることにより、めんどくさいと思う人がいるかもしれないが、子供をともに育てる喜びを感じる人も大勢いる。地域も一緒になって子供たちを育てていきたい。
- いろいろな思考をめぐらし、学校教育が進められていると感じる。これからもどんどん推進してほしい。

3 その他

- 今後の足立区、日本、世界を背負っていく子供たちを育てることが使命であり、学校だけでなく社会全体として担っていくべき課題であると思う。
- 全体的にメリハリのある学校経営計画である。結果や実績に応じて今後の課題を取捨選択しており、目標実現の方法に関しても、実現性の高い目標を設定し、理想と実務のバランスをよく図っている。
- ICT機器の活用の延長として、学校関係評価書や協議会出欠表なども電子化することを検討していただけると幸いである。
- 保護者の協力を必要とする学校行事において、協力者が少なく感じた。どのようにしたらもっと興味をもってもらえるか考えていきたい。